

令和7年 署勢概要



(二ヶ領用水久地円筒分水)

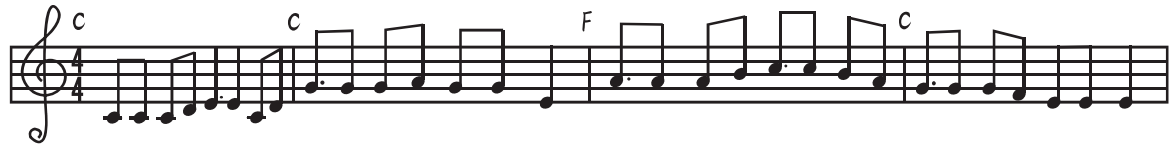
高津消防署

目 次

高津消防の歌	1
高津消防署管内図	2
署所及び受持区域	3
高津消防署組織図	4
消防職員の配置状況	5
消防車両等の配置状況・原動機付自転車配置状況	6
警防用資機材の配置状況	7
署所別消防水利状況・消火ホースキット設置状況	8
防火対象物の現況	9
中高層建築物の現況	10
危険物施設等の現況	11
年間業務内容	12
火災概要	15
月別火災統計・出火原因別火災統計	16
特別救助隊の活動状況	17
救急概要	18
月別救急活動状況・年齢別、性別救急活動状況	19
消防団について	20
高津消防団受持区域	21
高津消防団組織図	22
高津消防団配置車両・対震災用小型動力ポンプ配置状況	23
高津消防団の年間活動概要	24
各種団体の組織について	25
高津消防署沿革史	28

高 津 消 防 の 歌

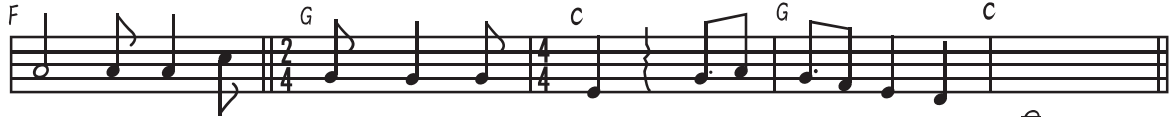
作詞 高橋 真悦
作曲 久保田紀子
歌 木村 孝一



たまがわの一ぞむ ふるさとたか っ ふた ご のわー たし ゆうひに はえる



わがまち まーもる しょうぼう の かどでをいゝ わ う でぞめしき ああ



あーた か っ しょうぼう ー さー かー え あ れ

高津消防の歌

一 多摩川望む 古里高津

二子の渡し 夕日に映える
我が街守る 消防の

門出を祝う 出初式
ああ高津消防 栄えあれ

二 薫風薫る 橘樹の

大山街道 往来し
命を守る 消防の

刺し子姿の 誇らしき
ああ高津消防 栄えあれ

三 歴史の小路 溝の口

多摩川縁に 思いを馳せる
新都心守る 消防の

今日も潑刺 スクラムで
ああ高津消防 栄えあれ

高津消防署管内図



署 所 及 び 受 持 区 域

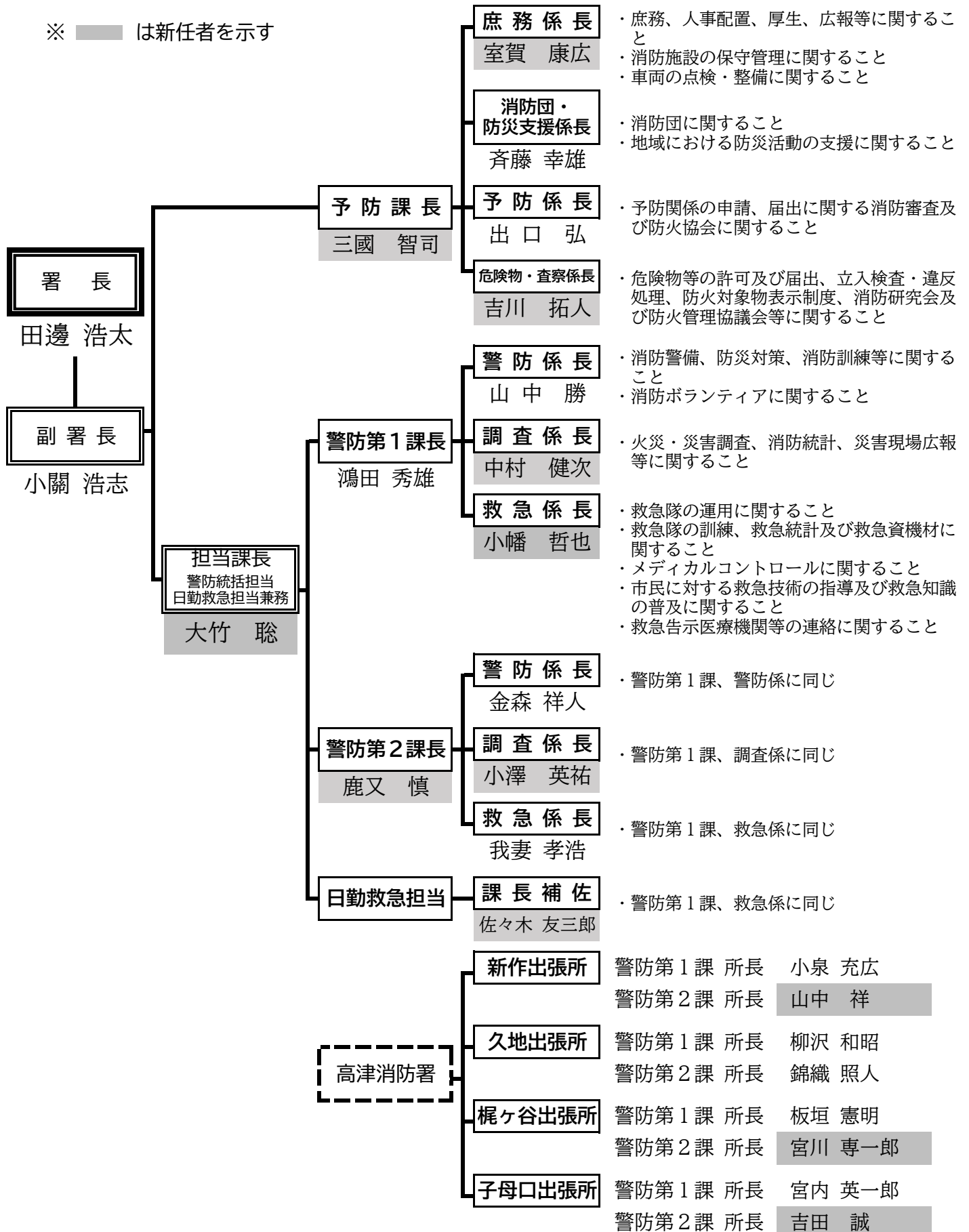
令和7年4月1日現在

署 所	住 所	面積(K㎡)	受 持 区 域
高津本署	〒213-0002 高津区二子5-14-5 TEL811-0119	4.9	高津区の区域のうち溝口1～6丁目、二子1～6丁目、諏訪1～3丁目、北見方1～3丁目、下野毛1～3丁目、瀬田、坂戸1～3丁目、久本1～3丁目
子母口出張所	〒213-0023 高津区子母口298-2 TEL766-0119	3.0	高津区の区域のうち東野川1・2丁目、子母口、子母口富士見台、久末、蟹ヶ谷、明津
新作出張所	〒213-0014 高津区新作4-12-7 TEL853-0119	2.7	高津区の区域のうち北野川、末長3・4丁目、新作1～6丁目、千年、千年新町
梶ヶ谷出張所	〒213-0035 高津区向ヶ丘8-16 TEL854-0119	3.5	高津区の区域のうち、下作延の一部（久地出張所の受持区域に属する区域を除く）、下作延2丁目の一部（久地出張所の受持区域に属する区域を除く。）、下作延3丁目、下作延4丁目の一部（久地出張所の受持区域に属する区域を除く。）、下作延5丁目の一部（久地出張所の受持区域に属する区域を除く。）、上作延1～5丁目、向ヶ丘、梶ヶ谷1～6丁目、末長1・2丁目
久地出張所	〒213-0032 高津区久地4-11-19 TEL822-0119	3.0	高津区の区域のうち、久地、久地1～4丁目、宇奈根、下作延（市道野川柿生線以北）、下作延1丁目、下作延2丁目の一部（市道野川柿生線以北）、下作延4丁目の一部（市道野川柿生線以北）、下作延5丁目の一部（市道野川柿生線以北）、下作延6丁目、下作延7丁目

高津消防署組織図

令和7年4月1日現在

※ は新任者を示す



消 防 職 員 の 配 置 状 況

令和 7 年 4 月 1 日現在

区分		計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
署所別									
合計		153	1	5	21	36	46	1	43
本署	署長	1	1						
	副署長	1		1					
	警防統括・ 日勤救急 担当課長	1		1					
	予防課	17		1	5	5	6		
	警防第 1 課	30		1	4	8	8		9
	警防第 2 課	30		1	3	8	9		9
	デイトائم 救急隊	5			1	2			2
子母口出張所		12			2	2	5		3
新作出張所		22			2	4	8		8
梶ヶ谷出張所		12			2	3	4	1	2
久地出張所		22			2	4	6		10

※職員数 1 5 3 名

【高津区世帯数 1 1 9，8 4 5 世帯 人口 2 3 5，9 3 0 人（令和 7 年 4 月 1 日現在）
人口約 1，5 4 2 人当たり消防職員 1 人となっている。】

消防車両等の配置状況

令和7年4月1日現在

署所	部 隊 名	車 種 別	車名	登録番号	登録年月	備 考
本署	高津 1	消防ポンプ車	日野	川崎800 す 2987	平成29年3月	5人乗・A-2
	高津 2	水槽付消防ポンプ車	日野	川崎800 は 1573	令和5年11月	6人乗・A-2
	高津救助	救助工作車	日野	川崎800 は 1315	平成30年12月	6人乗
	高津はしご	はしご車(30m級)	日野	川崎800 は 535	平成18年3月	6人乗
	高津水災害対応	水災害対応車	日野	川崎800 は 1070	平成26年3月	5人乗
	高津積載	ポンプ積載車	トヨタ	川崎800 す 5916	令和5年3月	6人乗
	高津指揮	指揮車	トヨタ	川崎800 す 4222	令和元年9月	5人乗
	高津救急	救急車	トヨタ	川崎800 す 5331	令和3年12月	7人乗
	高津デイトタイム救急	救急車	日産	川崎800 す 6780	令和7年3月	7人乗
	査察	軽査察車	スズキ	川崎580 ち 7670	令和5年2月	4人乗
	広報車1	広報車	ホンダ	川崎500 て 791	平成30年9月	8人乗
	広報車2	広報車	日産	川崎501 ち 9677	平成29年7月	8人乗
新作	新作	消防ポンプ車	日野	川崎800 す 4950	令和3年2月	5人乗・A-2
	新作救急	高規格救急車	トヨタ	川崎800 す 4208	令和元年8月	7人乗
久地	久地	消防ポンプ車	日野	川崎800 す 6287	令和5年11月	5人乗・A-2
	久地救急	高規格救急車	トヨタ	川崎800 す 5745	令和4年10月	7人乗
梶ヶ谷	梶ヶ谷	消防ポンプ車	日野	川崎800 す 3881	平成31年2月	5人乗・A-2
	高津非常用消防	消防ポンプ車	日野	川崎800 す 294	平成23年3月	5人乗
	高津非常用救急	救急車	トヨタ	川崎800 す 3367	平成30年1月	7人乗
子母口	子母口	消防ポンプ車	日野	川崎800 す 4476	令和2年3月	5人乗・A-2
	子母口化学	化学車	日野	川崎800 は 971	平成24年11月	6人乗・A-2 原液300L・水槽1500L
合計 20台						

原動機付自転車の配置状況

令和7年4月1日現在

車 両 番 号	配 置 先	車 種	配 置 年 月
川崎区 た 2560	高津消防署	ホンダAA04	平成24年7月
川崎市 あ 6914	高津消防署	ホンダAA03	平成27年6月
川崎市 ち 6778	高津消防署	ホンダAA05	平成28年2月
川崎市 ち 9775	久地出張所	ホンダAA05	平成28年12月
川崎市 あ 5606	久地出張所	ホンダAA03	平成26年9月
川崎市 あ 2900	新作出張所	ホンダAA04	平成25年5月
川崎市 あ 5605	梶ヶ谷出張所	ホンダAA03	平成26年9月
川崎区 つ 1679	子母口出張所	ホンダAA05	平成29年7月
合計 8台			

警 防 用 資 機 材 の 配 置 状 況

令和 7 年 4 月 1 日現在

項目	署所別	合計	本署	新作	久地	梶ヶ谷	子母口
測定	可燃性ガス検知器（4成分）	7	3	1	1	1	1
	水圧測定器	9	3	1	1	2	2
照 明 器 具	投光器	4	2		1	1	
	携帯用投光器	28	16	2	3	3	4
呼 吸 器	空気呼吸器	56	26	6	5	10	9
	空気呼吸器用ボンベ	150	119	9	9	9	4
	酸素呼吸器用ボンベ	5	5				
放 水 器 具	ガンタイプ・ノズル	18	4	2	4	3	5
	エアフォームノズル	5	1	1	1	1	1
	ターレット	2	1				1
	ME A（中発泡器）	2	1				1
	ポータブルキャフス	1	1				
	放口プロポーションナー	5	1	1	1	1	1
	泡放射砲	1					1
	三連はしご	8	3	1	1	1	2
一 般 救 助 用 器 具	滑車	8	8				
	航空救助用縛帯	9	9				
	サバイバースリング	2	2				
	空気式救助マット	1	1				
	平担架	2	2				
	バスケット担架	2	2				
	大型油圧スプレッダー	1	1				
	小型油圧救助器具（ユニット）	1	1				
重 量 物 排 除 用 器 具	可搬ウィンチ	2	2				
	チェーンブロック	1	1				
	マンホール救助器具	1	1				
	マット型空気ジャッキ式	1	1				
	マット型空気ジャッキ式（小型）	1	1				
	救助用支柱器具	1	1				
	大型油圧切断機	1	1				
	エンジンカッター	8	4	1	1	1	1
切 断 用 器 具	チェーンソー	2	2				
	鉄線カッター	1	1				
	空気切断機	1	1				
	空気鋸	1	1				
	コンクリート切断用チェーンソー	1	1				
	ガス溶断器	1	1				
	削岩機	1	1				
	携帯用コンクリート破壊器具	1	1				
破 壊 用 器 具	万能斧	3	3				
	ハンマドリル	3	3				
	充電式破壊器具	2	2				
	防毒マスク	18	14	4			
	墜落制止用器具（フルハーネス）	11	11				
	携帯警報器	5	5				
	耐電衣	8	8				
	防毒衣	5	5				
隊 員 保 護 用 器 具	陽圧式化学防護服	7	7				
	放射能防護消防服	0	0				
	放射線防護衣	5	5				
	耐熱服	0	0				
	防火衣	171	88	21	24	19	19
	潜水器具一式	18	18				
	水難用空気ボンベ	35	35				
	救命胴衣	67	39	8	7	4	9
水 難 救 助 用 器 具	水中投光器	21	21				
	浮標	11	11				
	救助用ゴムボート	5	4		1		
	船外機	3	3				
	水中スクーター	1	1				
	水中無線機	2	2				

※ 主な資機材について掲載した。

署所別消防水利状況

令和7年4月1日現在

署所別 区 分			合 計	本署	子母口	新作	梶ヶ谷	久地
合 計			2,697	775	528	458	581	355
消 火 栓	公設	小 計	2,511	713	496	426	549	327
		地下単口	1,873	504	367	314	449	239
		地下双口	638	209	129	112	100	88
	私設	小 計	31	8	6	13	3	1
		地下式	20	5	6	5	3	1
		地上式	11	3	0	8	0	0
防 火 水 槽	公設	小 計	63	13	18	9	14	9
		40m3未満	2	1	0	0	0	1
		40～100m3未満	56	9	17	9	13	8
		100m3以上	5	3	1	0	1	0
	私設	小 計	36	22	5	4	3	2
		40m3未満	3	2	0	1	0	0
		40～100m3未満	30	18	5	3	3	1
		100～200m3未満	3	2	0	0	0	1
		200～500m3未満	0	0	0	0	0	0
		500m3以上	0	0	0	0	0	0
その他の水利		小 計	56	19	3	6	12	16
		プール	24	6	3	6	5	4
		河川・溝等	24	6	0	0	7	11
		濠・池等	0	0	0	0	0	0
		貯水施設	8	7	0	0	0	1

消火ホースキット設置状況

令和7年4月1日現在

避難所	住所	配置年度
子母口小学校	子母口730	平成28年度
橘小学校	千年1024	平成27年度
末長小学校	末長3－8－1	平成26年度
新作小学校	新作1－9－1	平成27年度
東高津小学校	北見方2－5－1	平成26年度
坂戸小学校	坂戸1－18－1	平成26年度
久本小学校	久本3－11－3	平成26年度
下作延小学校	下作延5－19－1	平成27年度
高津小学校	溝口4－19－1	平成27年度
梶ヶ谷小学校	梶ヶ谷4－12	平成28年度
西梶ヶ谷学校	梶ヶ谷2－14－1	平成28年度
久末小学校	久末647	平成26年度
上作延小学校	上作延559	平成28年度
南原小学校	上作延796	平成28年度
久地小学校	久地4－2－1	平成27年度
東橘中学校	子母口321	平成26年度
橘中学校	千年1300	平成26年度
高津中学校	久本3－11－2	平成26年度
東高津中学校	末長4－1－1	平成26年度
西高津中学校	久地1－10－1	平成26年度
市立高津高校	久本3－11－1	平成27年度
合計 21基		

防 火 対 象 物 の 現 況

令和7年4月1日現在

区 分	対象数	区 分	対象数
劇 場 ・ 映 画 館 ・ 観 覧 場 等	0	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校	11
公 会 堂 ・ 集 会 場	2	小 ・ 中 ・ 高 ・ 高 専 ・ 大 学 ・ 各 種 学 校	23
キ ャ バ レ ー ・ 遊 技 場 等	8	図 書 館 ・ 博 物 館	2
カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	3	公 衆 浴 場	2
待 合 ・ 料 理 店 そ の 他 類 す る も の	0	車 両 の 停 車 場 等	5
飲 食 店	91	神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 の 類	44
百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト ・ 物 品 販 売 店	120	工 場 ・ 作 業 所	293
旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所	3	映 画 ス タ ジ オ ・ テ レ ビ ス タ ジ オ	1
寄 宿 舎 ・ 下 宿 ・ 共 同 住 宅	4,969	自 動 車 車 庫	15
病 院 ・ 診 療 所	21	倉 庫	102
福 祉 施 設 等	158	前 各 号 に 該 当 し な い 事 業 所	322
※ 複 合 用 途 （ ア ー ケード を 除 く ）	1,718		
合 計		7,913対象	

※複合用途とは、上記区分の事業所が二つ以上含まれる防火対象物になります。

中高層建築物の現況

令和7年4月1日現在

署所 合計 階数	合 計	本 署	子 母 口	新 作	梶 ヶ 谷	久 地
	1,254	579	128	206	226	115
5	642	230	69	135	152	56
6	204	116	11	22	33	22
7	216	109	19	32	35	21
8	56	34	9	4	3	6
9	35	18	10	5	1	1
10	37	22	6	6	1	2
11	17	12	1	1		3
12	11	9			1	1
13	7	7				
14	14	10	3			1
15以上	15	12		1		2

※川崎市消防局警防規程の改正により、平成28年度から中高層建築物の用語の定義が5階以上となっています。

危険物施設等の現況

令和7年4月1日現在

施設		合計	本署	新作	久地	梶ヶ谷	子母口
危険物施設	製造所	0					
	屋内貯蔵所	18	8	2	6		2
	屋外タンク貯蔵所	1		1			
	屋内タンク貯蔵所	1			1		
	地下タンク貯蔵所	20	6	5	4	3	2
	移動タンク貯蔵所	9			8	1	
	屋外貯蔵所	0					
	営業用給油取扱所	14	4	3	1	2	4
	自家用給油取扱所	11	3	2	5		1
	一般取扱所	15	5	3	4	1	2
	第1種販売取扱所	0					
合計		89	26	16	29	7	11
少量危険物		340	111	28	86	51	64
指定可燃物		41	11	4	13	4	9

年間業務内容

1 警防業務

令和6年中

件 名	件 数	内 訳
火 災 件 数	5 6 件	人口1万人当たりの出火件数 2. 3 9 件
救 急 件 数	9, 7 5 6 件	1日あたり平均26. 7 件出場
救 助 件 数	1 1 7 件	火災消火の際の人命救助 交通事故、水難事故、労働災害
自主防災組織における消防訓練指導	2 3 件	
消防法第8条に基づく消防訓練指導	8 9 件	

2 予防業務

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

危 険 物 関 係	件 数
危 険 物 許 可	9 件
危 険 物 届 出	4 5 件
危 険 物 完 成 検 査	4 件
建 築 同 意 (4月～3月)	
確 認 申 請	4 6 5 件
許 可 申 請	7 件
建 築 同 意 中 断	1 件
合 計 4 9 1 件	
消 防 用 設 備 等 届 出 件 数	
消防用設備等(特殊消防用設備等)設置届出書	6 6 0 件
工事整備対象設備等着工届出書	2 0 1 件
消防用設備等(特殊消防用設備等)工事計画届	1 9 7 件
合 計 1 0 5 8 件	
消防用設備等(特殊消防用設備等)点検結果報告書受理件数	
特 定 防 火 対 象 物	9 2 7 件
非 特 定 防 火 対 象 物	1, 2 6 3 件
合 計 2, 1 9 0 件	
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届 出	1 8 7 件
立 入 検 査 対 象 物 数 (うち危険物施設56対象)	4 9 0 対象

3 推 進 業 務

令和 7 年 4 月 1 日 現在

事 業 の 名 称 等	事 業 の 内 容
幼 年 消 防 ク ラ ブ の 育 成	幼稚園の園児を対象として、幼稚園ごとに幼年消防クラブを結成し、年間を通じて消防署の見学、防火映画、消防署の行事に参加等を行い、火災の予防と防火思想の普及を図っています。
少 年 消 防 ク ラ ブ の 育 成	高津区子ども会連合会の協力により、小学 3 年生から 6 年生までのクラブ員を編成し、1 年間にわたり正しい防火意識の習得と規律正しい少年消防の育成を推進しています。
住 宅 用 火 災 警 報 器 普 及 活 動	住宅火災による死者を減らすことを目的として消防法が改正され、全ての住宅の「寝室」「台所」「階段」等に住宅用火災警報器の設置が法律や条例で義務付けられましたが、全数設置はもとより、法律の施行から 10 年以上経過し、初期設置のものは電池切れとなることから、点検や交換を促すため、火災予防運動期間中はもちろん、各種行事、訓練指導等で広報活動を行っています。
消 防 協 力 団 体 に よ る 防 火 思 想 の 普 及 と 啓 発 活 動	町内会、自治会、防火管理者等で組織される高津防火協会、事業所で組織される高津防火管理協議会、危険物を保有する事業所で組織される高津消防研究会などの会員及び住民を対象として、火災予防運動期間中はもとより年間を通じて、防火講演会、防災訓練等の機会を捉え防災広報グッズ、パンフレットの配布等幅広く防火思想の普及活動を行っています。

事業の名称等	事業の内容
応急手当の普及啓発活動	住民による応急手当の習得は、大規模災害時における自主救護能力の向上につながるため、9月9日の「救急の日」を中心に、ポスター掲示やチラシ配布、救急講話等により普及啓発活動を行っています。
春、秋の火災予防運動の実施	火災が発生しやすい季節に、火災予防思想の一層の普及高揚を図り、火災の発生を防止し、火災による死傷者や財産の損失を防ぐことを目的に、ポスター掲示、チラシ配布、講演会などの火災予防広報、消防訓練、特別立入検査などを実施しています。
危険物安全週間	危険物を保有する事業所に対して、危険物安全教室、危険物施設に対する消防訓練、立入検査を実施し、保安体制の確立を図っています。
自主防災組織等の育成・強化	大規模な震災では火災や建物の倒壊とそれらに伴う救助や救護を必要とする人が多数、同時に発生すると考えられることから、各自主防災組織や高津消防ボランティアの会において、消火・救助・応急手当の指導を推進しています。
ジュニア・ハイスクール 消防隊育成の推進	災害により、地域に火災が多発した場合に備え、地域の防災組織等と連携した消火活動の一役を担ってもらえるよう中学生版消防隊の育成を推進してまいります。
みんなが消防士事業及び 地域防災スクール事業の推進	大規模地震、豪雨などをはじめとする災害の被害を軽減するために、次代を担う小・中・高校生の防災教育を通して、自助・共助の精神を醸成するとともに地域の防災力向上を推進しています。

火 災 概 要

1 火災件数と出火率

高津消防署管内の火災件数は56件で、前年64件に比べ8件減少しています。

火災件数を火災種別ごとに見ますと、建物火災が43件で全体の76.79パーセントを占めており、車両火災が4件で7.14パーセント、その他の火災（枯草、ごみ等）が9件で16.07パーセントとなっています。

また、出火率（人口1万人あたりの火災件数）は約2.37件で、前年より0.39件減少しています。

※令和6年12月31日の人口（23万5,648人）で算出

2 出火原因別件数（主な出火原因）

火災の出火原因別件数は、配線器具が9件（16.07パーセント）で1位となっています。2位は同率で放火、こんろ及びたばこが7件ずつ（各12.5パーセント）、5位は電気機器で6件（10.71パーセント）となっています。その他の原因が20件（35.71パーセント）でした。

3 火災による死傷者

火災による死者は1人、負傷者は8人で、前年の死者1人、負傷者15人に比べ、負傷者が7人減少しています。

月 別 火 災 統 計

[高津消防署]

令 和 6 年 中

区分 月別	件数	種別			焼損面積 (㎡)	損害額 (千円)	死者 (人)	傷者 (人)
		建物	車両	その他				
1	7	5	0	2	267	10,476	0	1
2	3	1	1	1	0	2	0	0
3	3	3	0	0	0	34	0	0
4	2	1	1	0	0	362	0	0
5	6	3	1	2	10	274	0	1
6	3	3	0	0	0	6	0	0
7	1	0	0	1	0	5	0	0
8	4	4	0	0	1	5	0	0
9	7	5	1	1	307	10,241	0	1
10	8	7	0	1	24	745	0	0
11	4	4	0	0	17	1,175	1	4
12	8	7	0	1	53	677	0	1
合計	56	43	4	9	679	24,002	1	8
(昨年中)	(64)	(47)	(1)	(16)	(877)	(26167)	(1)	(15)
増・△減	△ 8	△ 4	3	△ 7	△ 198	△ 2,165	0	△ 7
川崎市	398	282	21	94	5,436	348,426	14	72
(昨年中)	(390)	(270)	(27)	(93)	(3911)	(473125)	(3)	(56)
増・△減	8	12	△ 6	1	1,525	△ 124,699	11	16
全市に対 する割合 (%)	14.1%	15.2%	19.0%	9.6%	12.5%	6.9%	7.1%	11.1%

() 内は昨年中の数値を示す。

出火原因別火災統計

高津消防署管内

(主な出火原因)

区分 年別	原 因				
	放火	電気機器	たばこ	こんろ	配線器具
令和6年中	7	6	7	7	9
() 内は、全市に 対する割合%	(13.7%)	(12.0%)	(14.2%)	(14.0%)	(23.1%)
令和5年中	12	11	9	6	5
増 ・ △ 減	△ 5	△ 5	△ 2	1	4

川崎市全域

区分 年別	原 因				
	電気機器	たばこ	放火	こんろ	配線器具
令和6年中	53	50	49	50	39
令和5年中	57	57	47	42	32
増 ・ △ 減	△ 4	△ 7	2	8	7

特 別 救 助 隊 の 活 動 状 況

1 特別救助隊の活動状況（火災を除く）

（令和6年中）

種別 人員	合計	交通事故	水難事故	機械による事故	ガス及び酸欠事故	建物等による事故	高所事故	エレベーター事故	その他の事故
出場件数 (回)	241	7	1	0	2	120	0	0	111
活動件数 (回)	119	5	0	0	2	93	0	0	19
救出件数 (人)	116	5	0	0	4	90	0	0	17

2 特別救助隊の危険排除等の活動状況

（令和6年中）

種別	合計	ガス事故				油流出事故		その他
		都市ガス	L P ガス	その他のガス	異臭	車両	危険物品	
出場件数 (回)	42	2	0	1	3	31	0	5

3 特別救助隊の訓練実施状況

（令和6年中）

種別	合計	日課訓練	合同訓練	強化訓練	特別訓練	専門訓練	体力錬成
回数	711	199	2	138	0	7	365
時間	1,089	359	3	344	0	18	365
人員	4,490	1,185	9	821	0	45	2,430

【訓練の種別】

日課訓練	特別救助隊員（水難救助隊員、国際救助隊員、航空救助員を含む。以下この表において同じ。）が、救助技術、知識の向上を図る当務中で行う訓練
合同訓練	原則として、警防第1課及び警防第2課の特別救助隊が合同して行う教育訓練
強化訓練	特別救助隊員が、全国消防救助技術大会又は消防局救助技術指導会等に向けて、救助技術の強化を図るため行う教育訓練
特別訓練	火災予防運動期間中の演習又は各種警防活動等、上記に該当しない教育訓練で、署長が必要と認めた特別救助隊員に対して行う教育訓練
専門訓練	特別救助隊員に対して、救助業務に関する高度の知識を習熟させ、資質の向上を図る教育訓練
体力錬成	特別救助隊員に対して、筋力等体力のすべての要素を効果的に向上させるための訓練

救 急 概 要

1 救急隊の配置について

当市の救急隊30隊（デイトタイム救急隊1隊を含む）のうち、高津消防署には、高津救急隊・新作救急隊・久地救急隊の3隊が配置されています。

2 市内救急件数について

令和6年中の市内全体の救急出場件数は、89,114件で、前年に比べ1,523件（1.7パーセント）増加し、1日平均の出場件数は、243.5件で約5分54秒に1件の割合で救急出場したことになります。

3 出場件数と事故種別

令和6年中の当署3隊の救急出場件数は、9,756件で前年比240件の減少となっています。

事故種別は、急病が6,822件で全体の69.9パーセントを占め、次いで一般負傷1,631件（16.7パーセント）、転院搬送439件（4.5パーセント）となっています。

4 搬送人員と傷病程度

搬送人員は、7,960人で前年比212人減少しています。

傷病程度は、軽症が4,285人で搬送人員の53.8パーセントを占め、次いで中等症3,202人（40.2パーセント）、重症453人（5.7パーセント）となっています。

5 高津区内の救急活動状況

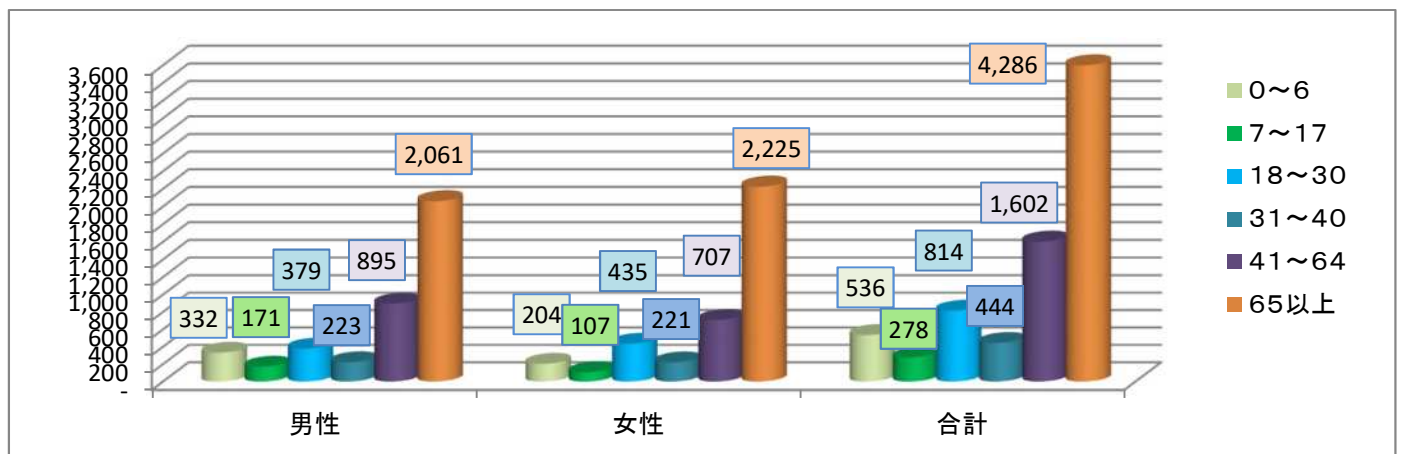
高津区内の救急出場件数は、12,690件あり、市内7行政区で比較すると3番目に多い件数となっています。

月 別 救 急 活 動 状 況

(高津署 3 救急隊)
(令和 6 年中)

区 月	上段 出場件数 下段 搬送人員	合 計	急 病	交 通	一 般	火 災	自然 災害	労働 災害	運 動	水 難 事故	加 害	自 損	転 院	そ の 他
1 月	出場件数 搬送人員	843 689	621 520	25 21	124 105	3 -	- -	1 1	- -	1 -	3 2	3 3	38 37	24 -
2 月	出場件数 搬送人員	776 629	552 448	19 18	135 118	- -	1 1	1 1	- -	- -	2 1	12 9	33 33	21 -
3 月	出場件数 搬送人員	804 645	579 461	29 23	135 115	1 1	- -	1 1	1 1	- -	4 2	6 5	36 36	12 -
4 月	出場件数 搬送人員	712 611	483 412	33 27	131 120	1 -	- -	1 1	3 3	- -	7 5	8 8	35 35	10 -
5 月	出場件数 搬送人員	783 644	543 446	42 35	115 102	2 1	- -	7 8	2 2	- -	7 6	6 5	40 39	19 -
6 月	出場件数 搬送人員	776 649	511 437	32 27	151 136	1 -	- -	- -	3 3	- -	1 1	13 10	36 35	28 -
7 月	出場件数 搬送人員	945 776	698 579	33 31	134 117	1 -	- -	- -	2 2	- -	4 4	3 2	42 41	28 -
8 月	出場件数 搬送人員	856 681	621 505	32 26	114 98	1 -	- -	4 4	- -	- -	3 2	10 8	38 38	33 -
9 月	出場件数 搬送人員	740 608	489 413	35 30	135 118	1 -	- -	4 4	1 1	- -	4 3	8 8	32 31	31 -
10 月	出場件数 搬送人員	757 603	501 411	31 27	145 120	4 -	- -	- -	1 1	- -	2 2	8 5	37 37	28 -
11 月	出場件数 搬送人員	771 627	519 431	37 27	140 119	3 4	- -	4 5	4 4	- -	2 1	3 3	33 33	26 -
12 月	出場件数 搬送人員	993 798	705 579	32 24	172 146	4 1	- -	6 6	- -	- -	2 1	3 2	39 39	30 -
合計	出場件数 搬送人員	9,756 7,960	6,822 5,642	380 316	1,631 1,414	22 7	1 1	29 31	17 17	1 -	41 30	83 68	439 434	290 -

年 齢 別 ・ 性 別 救 急 活 動 状 況



年 齢 搬送人員	0 ~ 6	7 ~ 17	18 ~ 30	31 ~ 40	41 ~ 64	65 以上	合計
男性	332	171	379	223	895	2,061	4,061
女性	204	107	435	221	707	2,225	3,899
合計	536	278	814	444	1,602	4,286	7,960

消 防 団 に つ い て

1 消 防 団

消防団は、主として火災の警戒や鎮圧、風水害時の警戒や救助活動にあたる市町村の公的機関で、消防本部、消防署から独立した機関です。川崎市では必要の都度招集されて、消防活動等に従事する非常備の組織です。

その構成員である消防団員は、日常各自の職業に従事しながら、非常時は本来の職業を投げうって、災害から郷土を守る、郷土愛護の精神に基づいた民間の有志の人々です。

独立した機関といえども、災害現場での活動は勿論、平素の訓練、火災予防活動や広報活動を、消防局及び消防署と連携し実施しています。

2 組 織

消防団の組織は、消防団本部、分団、班などが置かれ、消防職員と同じように階級制度となっていて、団長、副団長、分団長、副分団長、部長、班長、団員の7階級があります。

3 消防団員の身分

消防団員は、市町村の消防機関に勤務する消防吏員と異なり、それぞれの職業をもっています。しかし、その身分は地方公務員法第3条により、特別職の地方公務員として保証されています。また、消防団の管理者は、消防組織法第7条により市町村長であると規定されていることから、消防団長は市長に任命され、消防団員は消防団長に任命されます。

4 消防団員の職務

火災から国民の生命、身体、財産を守ることが任務であることから、消防団は、火災出場時の優先通行権・緊急通行権などの権限が与えられています。

また、緊急の必要があるときには、火災の現場付近の者を消防作業に従事させる等の緊急措置権が与えられています。

5 消防団の活動

消防団は、災害出場以外の活動として、火災防ぎょ訓練や水防訓練、更にこの訓練の成果を区民に披露する「消防大会」を開催するほか、中学生に、地域住民が行う防災活動を支援するために必要な知識・技術を習得させる「ジュニア・ハイ・スクール消防隊」の育成事業、区民への防火・防災訓練指導、花火警備や区民祭警備等、地域に根差した組織として、年間を通じて多くの活動を実施しています。

高 津 消 防 団 受 持 区 域

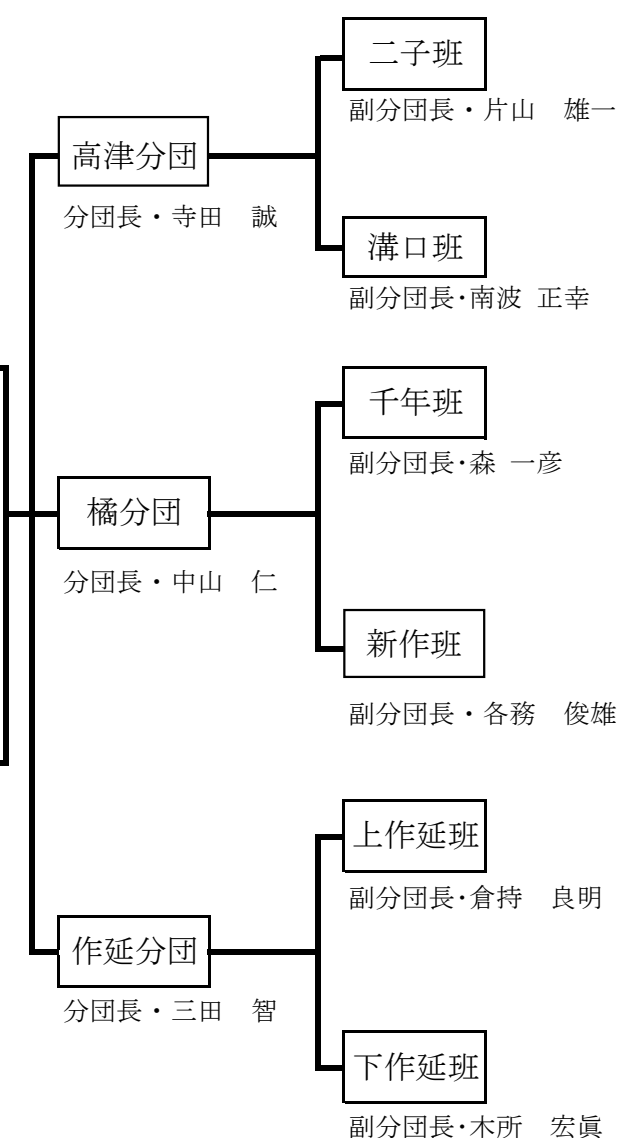
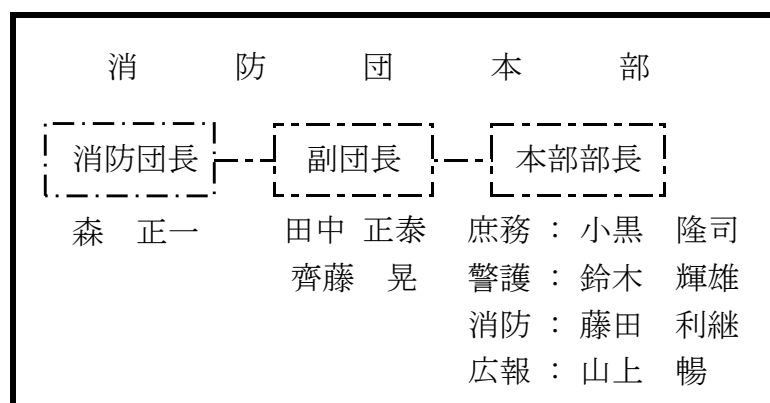
令和 7 年 4 月 1 日現在

分団	班	所 在 地	受 持 区 域
本団		二 子 5-14-5 (高津消防署内)	高津区全域
高津	溝 口	溝 口 4-15-17	溝口 1 丁目 (作延分団受持区域に属する区域を除く。) 溝口 2 丁目～6 丁目、 久地、久地 1～4 丁目、宇奈根
	二 子	二 子 6-13-7	二子 1～6 丁目、瀬田、諏訪 1～3 丁目、 北見方 1～3 丁目、坂戸 1～3 丁目 下野毛 1～3 丁目
橘	新 作	新 作 3-18-5	末長 1～4 丁目、新作 1～6 丁目、 梶ヶ谷 1～6 丁目
	千 年	千 年 548-2	千年、千年新町、久末、子母口、明津、 蟹ヶ谷、子母口富士見台、 東野川 1～2 丁目・北野川
作延	上 作 延	上 作 延 1-4-22	上作延、上作延 1 丁目～5 丁目 向ヶ丘の一部 (高津区に限る。)
	下 作 延	下 作 延 4-10-17	久本 1～3 丁目、下作延、下作延 1～7 丁目 溝口 1 丁目の一部 (県道鶴見溝ノ口線以南の区域に限る。)

高 津 消 防 団 組 織 図

令和7年4月1日

		現 員
団本部	団長	1
	副団長	2
	本部部長	4
分団	高津分団	34
	橘分団	36
	作延分団	25
機能別団員		15
合計		117



高津消防団本部
(高津消防署内)

川崎市高津区二子 5-14-5
TEL 044-811-0119
FAX 044-812-6544

高 津 消 防 団 配 置 車 両

令和 7 年 4 月 1 日現在

分団	班 別	車種別	車 種	登録年月日	登録番号	備 考
高 津	溝口班	積載車	日 産	平成23年 8月 5日	川崎800 す 416	ラビット・B-3・6人乗り
	二子班	積載車	トヨタ	令和 5年 3月20日	川崎800 す 5946	シバウラ・B-3・6人乗り
橘	千年班	積載車	日 産	平成23年 8月 5日	川崎800 す 417	ラビット・B-3・6人乗り
	新作班	積載車	日 産	平成23年 8月 5日	川崎800 す 418	ラビット・B-3・6人乗り
作 延	上作延班	積載車	日 産	平成23年 8月 5日	川崎800 す 419	ラビット・B-3・6人乗り
	下作延班	積載車	日 産	平成23年 8月 5日	川崎800 す 420	ラビット・B-3・6人乗り
合 計		ポンプ積載車 6 台・小型動力ポンプ 6 台				

対震災用小型動力ポンプ配置状況

令和 7 年 4 月 1 日現在

番号	班名	ポンプ名・型式	ポンプ 級別	馬力	購入年月日
1 1 号	上作延班	ラビットFi 6 0 0 0 0	B-3	PS	平成25年3月25日
3 4 号	二 子 班	ラビットFi 6 0 0 0 0	B-3	PS	平成25年3月25日
3 5 号	下作延班	ラビットFi 6 0 0 0 0	B-3	PS	平成25年12月2日
4 0 号	新 作 班	ラビットFi 6 0 0 0 0	B-3	PS	平成25年12月2日
4 1 号	溝 口 班	ラビットFi 6 0 0 0 0	B-3	PS	平成25年12月2日
	本 団 用	ラビットFi 6 0 0 0 0	B-3	PS	平成25年2月27日
合 計		6 台			

高津消防団の年間活動概要

(令和6年度中)

実施月	事業名	事業内容
4 月	団長交代式	団長交代式を実施した。
	ポンプ性能検査	各班配置の可搬ポンプの性能検査を実施した。
5 月	高津消防団消防大会	久本小学校グラウンドで開催した。
	防災フェア	防災フェアにおいて入団促進等の広報を実施した。
6 月	水防訓練	消防職員と合同で訓練を実施した。
	消防団幹部研修	神奈川県消防協会が主催する研修に1名が参加した。
	川崎市消防団操法大会	市操法大会に出場した。
7 月	消防団副団長研修	神奈川県消防協会が主催する研修に1名が参加した。
	少年消防クラブ結成式	少年消防クラブ結成式に団長が出席した。
	花火大会事前警備	二子新地花火大会に伴う事前散水等を実施した。
8 月	橘ふるさと祭り	橘ふるさと祭りにおいて警備を実施した。
10 月	団長・副団長研修	神奈川県消防協会が主催する研修に1名が参加した。
	多摩川花火大会	多摩川花火大会に伴う警備を実施した。
	消防大学校団長科	団長が消防大学校団長科を受講した。
	指導員研修	神奈川県消防協会が主催する研修に1名が参加した。
	所管業務訓練	団本部及び各器具置き場において訓練を実施した。
	指導員講習	神奈川県消防協会が主催する講習に3名が参加した。
	神奈川県殉職消防職団員慰霊祭	神奈川県消防学校に出向し慰霊祭に参加した。
11 月	高津区安全・安心フェア	フェアで入団促進等の広報を実施した。
	子どもフェア	高津区子どもフェアで入団促進等の広報を実施した。
12 月	消防団員幹部候補研修	神奈川県消防協会が主催する研修に1名が参加した。
	消防団幹部地震対策特別研修	神奈川県消防協会が主催する研修に1名が参加した。
	小型ポンプ操作研修	団長会が主催する研修に参加した。
	年末火災特別警備	消防団本部及び各班器具置場において特別警備を実施した。
1 月	高津区消防出初式	高津区消防出初式において、消防団員及び協力団体等への表彰を行った。
	文化財防火デーに伴う訓練	能満寺において放水訓練を実施した。
2 月	女性消防団員研修	神奈川県消防協会が主催する研修に1名が参加した。
	分団長（現場指揮課程）研修	神奈川県消防協会が主催する研修に1名が参加した。
	消防フェア	高津消防フェアで入団促進等の広報を実施した。
3 月	春の火災予防週間訓練	橘地区防火防災訓練に参加した。
	春の安全・安心フェア	フェアで入団促進等の広報を実施した。
	少年消防クラブ修了式	少年消防クラブ修了式に団長が出席した。

各種団体の組織について

令和7年4月1日現在

高津防火協会

会 長	小 池 克 利 （二子第3町内会長）
副会長	森 幸 男 （橘地区連合自治会長） 大 島 明 （高津区全町内会連合会長、高津地区町内会連合会長） 森 正 一 （高津消防団長）
組 織	高津区内の事業所、団体、個人で本会の目的に賛同し、入会する者をもって組織しています。
会員数	2 2 3 会 員
事 業	高津区内の災害の絶滅し、無火災都市の実現を図ることを目的とし、種々の活動を行い地域の消防防災に貢献しています。

高津消防研究会

会 長	木 所 章 （株式会社 木所）
副会長	涌 坪 勉 （株式会社 高砂製作所） 黒 川 俊 一 （株式会社 黒川石油） 堀 川 和 彦 （有限会社 堀川商店）
組 織	高津消防署管内の消防法第10条に規定する危険物製造所等を有する工場、事業所を単位とし、本会の主旨に賛同するものをもって組織しています。
会員数	4 5 会 員
事 業	高津消防署管内の危険物保有事業所等の無火災の実現を目的とし、各種の事業を行っています。

高 津 防 火 管 理 協 議 会

会 長	小 泉 正 博 （株式会社 和泉屋）
副 会 長	渡 辺 武 彦 （東急バス株式会社高津営業所） 中 村 良 司 （総合高津中央病院）
組 織	高津消防署管内の各事業所及び個人によって組織しています。
会 員 数	7 0 会 員
事 業	会 員 事 業 所 の 防 火、防 災 意 識 の 向 上 と 防 火 管 理 技 術 の 改 善 を 図 り、会 員 事 業 所 等 の 発 展 に 貢 献 す る こ と を 目 的 と し、各 種 の 事 業 を 行 っ て い ま す。

高 津 地 区 少 年 消 防 ク ラ ブ

委 員 長	藤 原 忠 興
副 委 員 長	菊 地 健 之
組 織	地 域 の 子 ど も 会 等 を 中 心 に 募 集 し て い ま す。
事 業	少 年 が ク ラ ブ 活 動 を 通 じ て 防 火 知 識 を 習 得 し、規 律 正 し い 明 る く 元 気 な 少 年 に 育 つ こ と を 目 的 と し て い ま す。

幼 年 消 防 ク ラ ブ

代 表 者	クラブを結成した幼稚園の園長又は理事長
組 織	幼稚園児をもって幼稚園ごとに組織しています。
クラブ員数	5クラブ（たちばな幼稚園、高津幼稚園、川崎めぐみ幼稚園、梶ヶ谷幼稚園、諏訪幼稚園）
事 業	幼年が各幼稚園独自の活動を通じて防火の心を身につけ、明るく元気な少年に育つことを目的としています。

高 津 消 防 ボ ラ ン テ ィ ア の 会

会 長	上木原 一志
副会長	金田 初枝 渡邊 美津男
組 織	高津区内に在住又は、在勤及び在学する18歳以上の者で、大地震等において消防機関が行う消防活動に協力する意思があり、ボランティアの会に入会した者で組織しています。
会員数	29 会員
事 業	大地震等における消防活動のうち、消火活動、救助活動、応急救護活動、その他の災害情報収集活動について、消防職・団員の協力要請に基づいて支援を行います。

高 津 消 防 署 沿 革 史

昭和15年12月	神奈川県川崎消防署が開設された。
昭和18年 6月	川崎消防署高津出張所が開設された。
12月	神奈川県中原消防署の開設に伴い、中原消防署高津出張所と改称した。
昭和20年11月	中原消防署登戸出張所が開設された。
昭和22年10月	消防団令の公布に伴って高津消防団が設置され、初代団長に木寫栄次郎氏が就任した。
昭和23年 3月	消防組織法の施行に伴って、官設消防が自治体移管となり、川崎市消防本部が設置された。
昭和24年11月	高津出張所の消防隊が増強され、消防隊2隊の配置となった。
昭和34年 8月	川崎市の機構改革により、消防本部を消防局と改称した。
昭和35年 8月	中原消防署新作出張所が開設された。
昭和36年 7月	中原消防署久地出張所が開設された。
昭和38年 5月	中原消防署百合丘出張所が開設された。
8月	中原消防署高津出張所庁舎を改築し、高津消防署に昇格した。 消防職員104名、消防車両9台、救急車1台、4出張所(新作、久地、登戸、百合丘)となった。 初代署長に消防司令長小野実が就任した。
9月	高津消防研究会が設立発足し、初代会長に丹羽嘉津磨氏が就任した
10月	高津防火協会が設立発足し、初代会長に木寫栄次郎氏が就任した。
昭和39年 6月	高津消防署菅出張所が開設された。
昭和40年 6月	久末大谷戸の丘陵地帯で灰津波が発生し、死者24名、負傷者17名が生じた。
9月	高津消防署向丘出張所が開設された。
昭和41年 7月	第2代署長に消防司令長鈴木清一が就任した。
昭和42年 4月	第3代署長に消防司令長山中志郎が就任した。
11月	高津消防署野川出張所が開設された。
昭和43年 5月	高津防火管理協議会が設立発足し、初代会長に亀ヶ谷真三氏が就任した。
6月	高津消防署登戸出張所庁舎を改築し、稲田消防署に昇格した。

昭和44年11月	高津消防団の第2代団長に菅沼彝氏が就任した。
12月	高津防火協会の第2代会長に井田順登氏が就任した。
昭和45年 2月	高津消防署宮崎出張所が開設された。
	向丘出張所に大型救急車が配置された。
5月	第4代署長に消防司令長米谷勝太郎が就任した。
	宮崎出張所に救急隊が配置された。
	高津消防研究会の第2代会長に太田義雄氏が就任した。
8月	高津消防署菅生出張所が開設された。
昭和46年10月	機構改革に伴って次長制度が廃止され、庶務課、警防第1課及び第2課の3課8係制となった。
昭和47年 4月	高津消防署本署に18メートルはしご車が配置された。
	政令指定都市となり、区制が施行された。
11月	高津消防署梶ヶ谷出張所が開設された。
	向丘出張所に救急隊が配置され、これに伴い大型救急車を本署に配置転換した。
昭和48年 4月	第5代署長に消防監椿次衛が就任した。
昭和49年 1月	末長地内の工場に火災が発生し、8,600平方メートルを焼失した。
3月	高津消防署本署の18メートルはしご車が24メートルはしご車に更新された。
	高津消防署本署に救助工作車が配置された。
昭和50年12月	救急隊が3交替制勤務となった。
昭和51年10月	第6代署長に消防監小板橋義雄が就任した。
昭和52年 4月	高津消防団第3代団長に青木藤司氏が就任した。
9月	高津防火管理協議会創立10周年記念行事を挙行了した。
11月	第7代署長に消防監米谷勝太郎が就任した。
昭和54年 5月	高津消防署子母口出張所が開設された。
	高津消防研究会の第3代会長に平賀隆氏が就任した。
12月	第8代署長に消防監川辺清吉が就任した。
昭和55年 4月	高津消防署犬蔵出張所が開設された。
昭和56年 4月	第9代署長に消防監古野義則が就任した。
	新作出張所が改築された。
昭和57年 3月	高津消防署本署の24メートルはしご車が32メートルはしご車に更新された。

昭和57年	4月	久地出張所が改築された。
	7月	高津区から宮前区、多摩区から麻生区がそれぞれ分区し、市の行政区が7区制となった。
昭和58年	1月	久本地内の家具店に火災が発生し、2,600平方メートルを焼失した。
	2月	第10代署長に消防監長島忠治が就任した。
昭和59年	3月	子母口出張所に化学消防ポンプ自動車が配置された。
	5月	高津消防研究会の第4代会長に杉浦明氏が就任した。
	7月	高津地区婦人消防隊委員会が発足し、第1期委員長に柏木末子氏が就任した。
昭和60年	2月	高津消防団の第4代団長に程塚幾男氏が就任した。
	4月	第11代署長に消防司令長遠藤邦雄が就任した。
	7月	分区に伴い高津消防署から宮前消防署が分離、新設された。 高津消防署に水中救助隊が発足し8人が配置された。 高津消防署久地出張所に宿河原救急隊が配置転換となった。 川崎市消防航空隊が創設発足した。
	10月	高津防火協会第3代会長に大島保氏が就任した。
昭和61年	4月	久地出張所の救急車が更新された。
	6月	第12代署長に消防司令長高桑幸二郎が就任した。
昭和62年	3月	高津地区婦人消防隊委員会第2期委員長に柏木末子氏が再度就任した。
	4月	高津消防署本署の32メートルはしご車が更新された。 第13代署長に消防司令長寺田昭男が就任した。
	5月	新作、久地両出張所の残留勤務員が廃止された。
	11月	高津防火管理協議会第2代会長に加藤賢二氏が就任した。
昭和63年	5月	高津消防署の救急車が更新された。 高津防火管理協議会第3代会長に小黒光男氏が就任した。
昭和63年	6月	高津消防研究会第5代会長に山上初男氏が就任した。
昭和64年	1月	高津地区婦人消防隊委員会第3期委員長に加藤芳江氏が就任した。
平成元年	4月	天皇の崩御により昭和から平成へと改元された。 第14代署長に消防監富吉士行が就任した。
	8月	機構改革で、庶務課長が廃止され、副署長、予防課長制が導入された。 集中豪雨により蟹ヶ谷に崖崩れが発生し、市民3名が死亡、救出活動中の消防職員3名が殉職、12名が負傷した。

平成元年 9月	殉職した3名の職員の消防葬が市立産業文化会館（現教育文化会館）においてとりおこなわれた。
平成 2年 3月	高津消防署本署の救助工作車が更新された。
4月	高津地区に初めて幼年消防クラブが発足した。 （川崎めぐみ幼稚園、たちばな幼稚園、高津幼稚園）
5月	高津消防研究会第6代会長に荒木幹仁氏が就任した。
6月	高津地区婦人消防隊委員会第4期委員長に斉藤久美子氏が就任した。
12月	久地出張所の救急車が更新された。 本署講堂を改築し、警防課の事務所とした。
平成 3年 4月	第15代署長に消防司令長吉澤寛が就任した。
6月	高津地区に初めて少年消防クラブが発足した。（高津地区32名）
平成 4年 3月	高津消防署本署の救急車が更新された。
6月	高津地区婦人消防隊委員会第5期委員長に五位渕善江氏が就任した。
平成 5年 2月	高津第1消防隊のポンプ車が10メートルはしご付ポンプ車に更新された。
3月	高津第2消防隊（乗換え）として2,000リットル 水そう付きポンプ自動車に更新された。 救急隊が3部制から2部制に変更された。
4月	第16代署長に消防監杉崎正憲が就任した。
8月	子母口出張所の化学車が更新された。
平成 6年 2月	OA化業務が開始される。
6月	高津地区婦人消防隊委員会第6期委員長に五位渕善江氏が再度就任した。
7月	高津防火協会（大島保会長）が「安全功労者」として消防庁長官表彰を受彰した。
12月	高津消防団の第5代団長に村田春雄氏が就任した。
平成 7年 3月	高津消防署及び高津消防団が、防火思想の普及等の成績優秀により消防庁長官から竿頭綬を受彰した。 高津消防署本署救急車が高規格救急車に更新された。
9月	久地出張所のポンプ車及び高規格救急車が更新された。 消防団溝口、千年、新作、上作延、下作延各班に小型ポンプ積載車が更新された。
平成 8年 3月	消防団上作延に対震災用小型動力ポンプが更新された。
4月	高津消防団の定員が124名から135名に増員された。

平成 8年	4月	第 1 7 代署長に消防監小林一也が就任した。
	5月	高津消防研究会第 7 代会長に志村武夫氏が就任した。
	6月	高津地区婦人消防隊委員会第 7 期委員長に土屋キノエ氏が就任した。
平成 9年	3月	消防団二子班に対震災用小型動力ポンプが更新された。
	4月	第 1 8 代署長に消防監増井勝四が就任した。
平成10年	2月	消防団下作延班の対震災用小型ポンプが更新された。 高津消防署本署の予備救急車が更新された。
	3月	高津消防ボランティアの会が設立発足し、初代会長に程塚幾男氏が就任した。
	4月	高津消防団第 6 代団長に斉藤彦次郎氏が就任した。(4月1日) 高津消防団第 7 代団長に木寫士郎氏が就任した。(4月20日) 職員の手で、高津消防の歌が完成した。
	6月	高津防火管理協議会第 4 代会長に内山博和氏が就任した。 高津地区婦人消防隊委員会第 8 期委員長に高橋トク子氏が就任した。
	8月	高津コンテナ車が梶ヶ谷出張所に新配置された。
	10月	査察Ⅱ型(予防軽車両)が更新された。 消防団溝口班の対震災用小型ポンプ車が更新された。
平成11年	2月	梶ヶ谷出張所庁舎が改築された。
	7月	高津消防ボランティアの会第 2 代会長に村田春雄氏が就任した。 高津防火管理協議会が「安全功労者」として消防庁長官表彰を受彰した。
	10月	消防団新作班の対震災用小型ポンプ車が更新された。
平成12年	2月	予備救急車が更新された。
	3月	予備消防車が更新された。 消防団二子班の望楼を撤去した。
	6月	高津地区婦人消防隊委員会第 9 期委員長に石田清美氏が就任した。
平成13年	3月	高津消防署本署の救急車が更新された。
	4月	第 1 9 代署長に消防監福元幸徳が就任した。
	6月	高津地区婦人消防隊委員会第 9 期委員長に斉藤香氏が就任した。 高津消防ボランティアの会第 3 代会長に宮田昇氏が就任した。
	10月	予備救急車が更新された。
平成14年	3月	予備消防車が更新された。
	4月	第 2 0 代署長に消防監岸田克彦が就任した。

平成14年	4月	高津区防火管理協議会第5代会長に鈴木元一郎氏が就任した。
	6月	高津地区婦人消防隊委員会第10期委員長に日野屋知子氏が就任した。
平成15年	2月	久本地内の冷蔵倉庫を解体中火災が発生し、5,600平方メートルを焼失した。
	3月	久地出張所の救急車が更新された。
	4月	第21代署長に消防監水谷哲が就任した。
	8月	本署改築のため、北見方1-27-19の仮設庁舎へ移転した。 査察Ⅲ型（予防軽車両）が川崎消防署へ配置換えされた。
平成16年	6月	高津地区婦人消防隊委員会第11期委員長に小関和子氏が就任した。
平成17年	2月	非常用救急車が更新された。
	3月	非常用消防車が更新された。 救助工作車が更新された。
	4月	高津消防署本署が改築された。 高津消防団から防火像ブロンズレリーフが寄贈された。
平成18年	3月	30メートル級はしご車が更新された。
	4月	高津消防団第8代団長に齊藤茂氏が就任した。 高津消防ボランティアの会第4代会長に持田裕弘氏が就任した。 川崎西ライオンズクラブから調査広報車が寄贈された。
	6月	広報車が更新された。 高津地区婦人消防隊委員会第12期委員長に戸張美代子氏が就任した。
平成19年	1月	本署消防ポンプ車が更新された。 非常用消防車が更新された。
	3月	非常用救急車が更新された。
	4月	第22代署長に消防正監福井昭久が就任した。
	9月	非常用消防車が更新された。
	10月	二子班積載車が更新された。 ポンプ積載車が更新された。
	11月	新作救急隊が運用開始した。
平成20年	1月	高津救急車が更新された。
	2月	梶ヶ谷消防車が更新された。
	4月	指揮車が更新された。 第23代署長に消防監佐藤文隆が就任した。 警防統括主幹が高津区役所危機管理主幹を併任した。

平成20年	4月	指揮情報隊が発足した。
	6月	高津地区婦人消防隊委員会第13期委員長に金田初枝氏が就任した。
平成21年	2月	本署水槽付ポンプ車が更新された。
		新作消防車が更新された。
		子母口消防車が更新された。
	3月	久地救急車が更新された。
		川崎西ライオンズクラブよりパソコン1台が寄贈された。
	4月	高津消防団第9代団長に三田久夫氏が就任した。
		組織改正で危険物・査察係が設置された。
		予防課長の専任制度が導入された。
		副署長が高津区役所危機管理主幹を併任した。
	8月	高津防火協会第4代会長に吉崎隆男氏が就任した。
	12月	川崎高津南ロータリークラブより訓練用レサシアン1体、訓練用AED 1台が寄贈された。
平成22年	3月	非常用消防車が更新された。
	4月	第24代署長に消防監佐久間真一が就任した。
		組織改正により担当主幹、担当主査が廃止され、担当課長、担当係長が 設置された。
	5月	川崎高津ロータリークラブより消防団用ホース18本が寄贈された。
	6月	高津地区婦人消防隊委員会第14期委員長に埴田恵子氏が就任した。
	7月	高津消防団第10代団長に河原金藏氏が就任した。
平成23年	2月	高津防火管理協議会よりキヤノンカラーレーザープリンタ1台、インク 4本が寄贈された。
		非常用救急車が更新された。
	3月	久地消防車が更新された。
	4月	第25代署長に消防監鈴木富夫が就任した。
	8月	高津分団溝口班、橘分団千年班・新作班、作延分団上作延班・下作延班 の車両が更新された。
平成24年	3月	高津防火管理協議会よりパソコン2台が寄贈された。
	5月	高津消防ボランティアの会第5代会長に佐保田實氏が就任した。
	6月	高津婦人消防隊委員会第15期委員長に須山美恵子氏が就任した。
	11月	子母口化学車が更新された。
平成25年	2月	消防団本団、溝口班、二子班、新作班、上作延班及び下作延班に対震災 用小型動力ポンプが更新された。

平成26年	3月	新作救急車が更新された。
	4月	第26代署長に消防監越谷成一が就任した。 本署に水災害対応車が配置された。 高津消防団の定員が135名から141名に増員された。
	5月	高津防火管理協議会第6代会長に持田裕弘氏が就任した。 高津消防研究会第8代会長に木所章氏が就任した。
	6月	高津地区婦人消防隊委員会第16期委員長に内木奈生美氏が就任した。
	8月	株式会社末長組よりバルーン投光器、訓練用消火器、ロープ収納袋が寄贈された。 高津防火協会第5代会長に瀧村治雄氏が就任した。
	3月	高津救急車が更新された。
	5月	川崎高津ロータリークラブよりジュニアハイスクール消防隊活動服25着が寄贈された。
平成27年	7月	東京ガス（株）よりガスコンロー式が梶ヶ谷出張所へ寄贈された。 川崎西ライオンズクラブより、子供用消防被服（5セット）が寄贈された。
	平成28年 2月	高津防火管理協議会よりキヤノンカラーレーザープリンタ1台、インク4本が寄贈された。
	3月	久地救急車が更新された。
	4月	第27代署長に消防監森下泰弘が就任した。
平成28年	6月	高津地区婦人消防隊委員会第17期委員長に須山三枝子氏が就任した。
	平成29年 3月	高津第1消防車が更新された。 非常用救急車が更新された。 高津分団二子班器具置場を高津区二子6丁目13番7号へ移転した。 高津消防団が、神奈川県消防協会より竿頭綬を受彰した。
	4月	第28代署長に消防監富樫剛が就任した。 高津消防団第11代団長に森勝夫氏が就任した。
平成29年	7月	高津乗用車（ニッサン セレナ）が更新された。
	8月	川崎高津ロータリークラブより、少年消防クラブ制服一式（30着）が寄贈された。
	9月	高津防火管理協議会第7代会長に廣部登勝氏が就任した。
	10月	高津消防団が創立70周年を迎えた。
平成30年	11月	高津消防ボランティアの会第6代会長に上木原一志氏が就任した。
	3月	非常用消防車が更新された。

	7月	高津地区婦人消防隊委員会第18期委員長に内木奈生美氏が就任した。
平成30年	9月	高津乗用車（ホンダ ステップワゴン）が更新された。
	12月	救助工作車が更新された。
平成31年	1月	高津防火管理協議会が「一般市民特別消防協力者」として、川崎市長表彰を受賞した。
	2月	梶ヶ谷消防車が更新された。
	4月	第29代署長に消防監藤原収が就任した。 高津消防団第12代団長に持田稔氏が就任した。
令和元年	5月	天皇の退位により平成から令和へと改元された。
	9月	高津指揮車及び新作救急車が更新された。
	10月	台風19号により区内において、浸水等により733床の住宅が被害を受けた。
令和2年	3月	子母口消防車が更新された。 高津地区婦人消防隊委員会は、事業推進目的が達成されたものとして発展的解散を遂げた。
	9月	高津消防団が防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞した。
令和3年	2月	新作消防車が更新された
	4月	第30代署長に消防監熊谷智子が就任した。 高津消防団第13代団長に武笠和師氏が就任した。
	12月	久地出張所の長寿命化工事が完了した。
令和4年	1月	高津救急車が更新された。 川崎西ロータリークラブより、少年消防クラブヘキャップ（100個）が寄贈された。
	4月	川崎高津ロータリークラブより、高津地区少年消防クラブヘジャケット（50着）が寄贈された。
	7月	高津防火管理協議会より、電動アシスト自転車（2台）が寄贈された。
	11月	久地救急車が更新された。 川崎高津南ロータリークラブより、横断幕（3種類）が寄贈された。
令和5年	2月	高津軽乗用車（スズキ スペーシア）が更新された。
	3月	高津ポンプ積載車が更新された。 二子班積載車が更新された。 高津消防団OB会より、懸垂幕が寄贈された。
	4月	第31代署長に消防監小金澤貴史が就任した。
	5月	高津防火管理協議会第8代会長に小泉正博氏が就任した。

	6月	高津防火協会第6代会長に小池克利氏が就任した。
	11月	高津第2消防車及び新作消防車が更新された。
令和6年	1月	令和6年能登半島地震に緊急消防援助隊として延べ24人の職員を派遣した（1月15日～2月13日）。
	4月	第32代署長に消防監田邊浩太が就任した。 高津消防団第14代団長に森正一氏が就任した。
令和7年	2月	川崎西ライオンズクラブより、デジタルワイレスアンプシステムが寄贈された。
	3月	令和7年大船渡市林野火災に緊急消防援助隊として延べ15人の職員を派遣した（3月3日～3月11日）。 高津デイトタイム救急車が納車された。
	4月	高津デイトタイム救急隊が運用を開始した。

2025年度全国統一防火標語

急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

発 行 所
発 行 所
住 所

電 話
F A X

令和7年6月

高津消防署

2 1 3 - 0 0 0 2

川崎市高津区二子 5 - 1 4 - 5

0 4 4 - 8 1 1 - 0 1 1 9

0 4 4 - 8 1 2 - 6 5 4 4